

# しゅうれんかい（修練会）からのメッセージ

公益財団法人豊島修練会 2020年1月号（通算第49号）

## 子どもたちへ（小さなお子さんには読んであげてください）

「勇気がある」って、どういうことでしょうか？次の中で「勇気がある」と思うことの（ ）の中に○を書きましょう。

- ( ) ①友達がいじめられていたので、とめた。
- ( ) ②信号が変わりそうだけど、急いで渡った。
- ( ) ③みんなと違う意見だったけど発表した。
- ( ) ④万引きにさそわれたけど、ことわった。
- ( ) ⑤おなかがいっぱいだったけどがまんして、おやつを食べた。



## 大人の皆様へ（パパ&ママ、ジジ&ババ）



最近の天候の不安定は、生活や環境に様々な影響を及ぼしています。今から「自分事」として考え、実行しなければ、私たちの子供が成人した時、孫の時代には大変なことになっているかもしれません。

難しいことは、専門家の研究と企業や政治家に頼むとして、私たちにできる身近なことから実践しましょう。そのヒントは、5R（Reduce リデュース・ごみの減量、Reuse リユース・再利用、Recycle リサイクル・再び資源とする、Refuse リフューズ・不要なものを買わない、Repair リペア・修理して使用）にあります。ご家庭で、隣近所で話題にしてください。私も頑張ります。

◆子どもたちへの解答：正答は、①、③、④です。お子さんと話し合ってください。

## 学校の先生がたへ

最近の雑誌、書籍、TVや新聞、講演、日常会話に、「カタカナ語（インターンシップ、レジリエンス、ファシリテーター、セルフアドボカシースキル、アカデミックライティング、コンピテンシー、スクランプルエデュケーションなど）」と「略語（AI、VR、SSW、Sophia GED、ABL、UD、SDGsなど）」が多用されている。

私のように昭和生まれの者にとっては、電子辞書が手放せない。いまだにガラ携を使っているため、スマホを器用に扱って瞬時に翻訳することができない。孫には、シーラカンス≡生きた化石と、からかわれている。

広く世界とつながり、様々な情報が飛び交っている中で、生活しているのだから致し方ない事ではある。が、日本語をもう少し大事にしてほしいと思う。せめて、学校の教室の中の教師から発せられる言葉は、できるだけ「分かりやすい日本語」に翻訳してほしい。

私たちがものを考える時、頭の中で言葉を使って考えている。このままでいくと、考えることが苦手な人が多くなってしまうと危惧するからである。

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」

「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」や「至楽荘」の利用の仕方、「成美教育文化会館」の会場貸出など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。



